

## 令和2年度 第4回図書館協議会会議録

1 開催日時 令和3年1月28日(木) 午後2時～午後4時10分

2 開催場所 相良庁舎4階大会議室

3 出席者

【牧之原市図書館協議会委員】

岩崎 陽子  
大石 武晴  
水嶋 みゆき  
杉本 公恵  
武田 てるみ  
鈴木 善彦  
佐藤 寛  
鈴木 亜弓

【事務局】

教育文化部長	内山 卓也
社会教育課長	八木 康仁
社会教育課社会教育係長	永野 敦嗣
牧之原市立図書館長	杉村 明彦
社会教育課社会教育係主任	水野 秀信
社会教育課社会教育係主事	森川 崇之

4 傍聴者 5人

5 議題

【報告】

- ①図書館概要及び実績について
- ②整備進捗状況について
- ③図書館サポーターの活動について

【協議】

## ①図書館利用規則等の変更案について

### 6 内 容 (要点記録)

(1) 開会

(2) 議題

#### 【報告】

①図書館概要及び実績について

②整備進捗状況について

#### ◎事務局説明要旨

- ・現在の図書館の規模や利用状況について説明
- ・整備スケジュール表を使い、図書交流館開館までに行う作業等を説明

#### ◎委員からの主な意見

(意見) 子どもと気軽に行ける図書館ができて嬉しく思う。

(意見) 「WITH コロナ」で今は外出しづらいので、良い時期に図書館が開館するなど感じた。

(意見) 榛原地区だと子どもを車に乗せて図書館行かなければならない。

(意見) 経済書などが少ないこともあり、ビジネスマンは図書館をあまり利用しないのでは。いろいろな人が来てくれるようになればと思う。

(意見) 周りに本が大好きという子どもが少なく感じる。交流館をきっかけに好きな子が増え、広く愛される図書館になると嬉しい。

(意見) 学校図書館とはカード登録等、リンクしているのか。

(市回答) 市内の公立図書館のみの情報共有を行い、学校図書館は共有されない。貸出には利用者カードが必要なので、多くの方に登録をお願いしたい。

## ③図書館サポーターの活動について

#### ◎事務局説明要旨

- ・開館準備に関わってもらったボランティアの実績について説明。また、開館後も各館で活動していただける方を募集する予定があることを説明する。

#### ◎委員からの主な意見

(意見) クリーニングに参加したが、当初思っていた以上に希望者が増え、場所を変更した。子どもたちには地域の図書館、自分たちの図書館と思ってほしい。子どもたちはまだクリーニング等、手伝うと言っている。

(意見) 生徒は開館を楽しみにしている。図書館は貸し借りだけでなく、居場所になるので目的なく行くことができると伝えると、とても驚いていた。

(意見) たくさんのサポーターの方が参加してくれた。参加してくれた市民の方々の気持ちは、牧之原市が目指す「協働の図書館」に対し、とても重要になってくる事柄だと考える。

(意見) ビジネスマンだけではなく、退職後の居場所(サードプレイス)として図書館で若い人、子どもを含むたくさんの人と交流することに価値がある。

(意見) 中学生がこんなにも多く参加してくれて感動した。すばらしい光景を見せていただいたと感じる。「市民と作る図書館」に向けて、実際に活動する姿を見て、牧之原市の底力を感じた。みんなで応援していきたい。

(意見) 実際に榛原図書館で作業をし、相良中学校だけでなく、全ての学校にて活動をしていただきたい。土日なら参加したいという高校生がたくさんいた。

(意見) 相良、榛原高校両校の生徒も参加してくれた。学生たちには開館後にたくさん土日に来館してほしい。

(意見) 交流談話エリアについて。開放的な場所だが、本を読みながらコーヒーを飲めるということでもいいのか。

(市回答) 現在規則上できないので、一部分だけでもできるようにするために規則の改正を検討している。

## 【協議】

### (1) 図書館利用規則等の変更案について

#### ◎事務局説明要旨

- ・現行の利用案内と、4月以降の利用案内(案)を比べながら、今までどおりのこと、新しく変更することを整理して説明する。

#### ◎委員からの主な意見

(意見) 飲み物を飲みながらの利用は、本を汚してしまうのではないかと感じる。

(意見) 「談話」が可能ということで、喫茶店のように利用する人もいると思う。大きな声を出すことで、静かに読書をしたい人への妨げになるのでは。

(意見) 飲食に関するルールはやってみないとわからないので、一度実際に3ヶ月ほど実施してから、問題があれば再度検討したらどうか。

(意見) 乳幼児などの水分補給がその場でできるのは良いと感じる。

- (意見) 食事はだめとしているが、飽くらいならいいだろうと考える人ができそう。食べものなのかどうなのかの確認をすることが職員の負担にならないか心配。
- (意見) あまりにルールを守らない人が多いようなら、元のルールに戻ってしまったほうがよいのではないか。
- (意見) 変更案の文章では利用者には少しわかりづらい箇所があると思う。
- (市回答) 今回の案はたたき台であるので、表現等は検討する。
- (意見) 注意書きはまったくしないのか。「大声での会話はお控えください」など。
- (市回答) 他者の迷惑になることはやめてもらう。そのために各所にわかりやすいサインを設置することや、定期的な館内放送での呼びかけを検討する。
- (意見) 利用者のマナーは開館後の様子を見ながら、というのは1度協議会にかけていただけなのか。
- (市回答) あまりにひどければすぐに職員で対応する。規則を変更する場合は教育委員会、図書館協議会で説明する。図書館基本計画に沿って機能を拡充することの、本末転倒にならないようにしたいと考える。
- (意見) カードの申込み時に、費用は徴収するのか。応分の負担があってもよいのでは。
- (市回答) 利用者カード新規発行の費用はとらない。再発行に関しては、他の自治体で徴収している事例があるが、現時点では費用負担を考えていない。
- (意見) 予約リクエストの相互貸借について教えてください。
- (市回答) 県内の他市町の図書館の本を借りる制度で、窓口で申し込んでいただく。市内図書館で所蔵する場合は、予約という考え方をし、インターネットでの手続きが可能となる。
- (意見) 資料費の確保で、図書交流館は8,000冊と大量に購入できるが、榛原や移動図書館に回すことなどはできないか。
- (市回答) いこっとは新館ということで今年度たくさんの本を購入するが、次年度以降はバランスよく本を購入していく予定。
- (意見) 榛原文化センターの床のボーリング調査はどのようになったのか。
- (市回答) 榛原図書館は、本を増やすことが耐荷重上、問題のある2階から安全な1階におろすことを考えている。今回1階の耐荷重を調べる調査を実施し、十分耐えられるという結果が出た。
- (意見) 2月の半ばまでサポーター活動は休止ということだが、整備スケジュールが追い付かないのではないかと不安を感じる。図書館職員だけでなく、社会教育課全体や市役所全体で、他の部署を巻き込んでの協力ができないか。
- (市回答) 現状、他部署からの応援は難しい。休日のボランティアのお願いならできるかもしれないが、課内でも相談して開館に間に合わせたい。
- (意見) 相良中学校ではまた協力できるので、相談をしていただきたい。オープニングイベントへの学校の参加方法はどのように考えているか。

(市回答) オープニングイベントは図書館と全体のグランドオープンの2つがある。具体的には決まっていないが、図書館部分は人が集中しないように、式典のみを密を避ける形で行いたい。今後、早期に各方面に相談をしていきたい。

(意見) 有償ボランティアの活用は考えていないか。

(市回答) 考えていないが、有償にして効果があるようなら、検討したい。

今後の議事録について

(事務局) 議事録を現状より簡略化したものに変更をしたい。時間の都合上、会長にのみ原案を見ていただき、適宜修正後公開する。

以上